

平成29年度予算編成の視点

「人」「安心」「活力」を視점에、“日本一住みやすいまち・久留米”を加速

人 一人ひとりを
大切にしたまちづくり

安心して子どもを産み育て、働ける環境づくりや、高齢者が、健康で安心して住み続けられる地域づくりを進めます。



安心 安全に安心して
暮らせるまちづくり

犯罪や交通事故が起きにくい環境づくりや、大規模災害に備える地域防災力の強化を図ります。



活力 県南の中核都市に
ふさわしい
活力や賑わいづくり

文化芸術・スポーツを活かしたまちづくりや、地域密着観光・インバウンドを推進します。



情報発信の強化

久留米の住みやすさや魅力を全国・海外に向けて発信するため、首都圏に出店するアンテナショップや様々なメディアを有効に活用するなど、戦略的なシティプロモーションを展開します。

平成29年度予算の力点

安心・住みたいまち予算

人

寄り添い育む次世代応援

- ・切れ目のない総合的な支援の拠点「(仮称)くるめ親子支援センター」の新設
- ・待機児童解消に向けた新たな取り組み
- ・地域と協働して学力向上を後押し

安心

セーフコミュニティの進展

- ・地域防災力の強化
- ・キラリ照明灯の新設
- ・青パトの全校区配備
- ・高齢運転者の免許自主返納を支援

活力

耳納北麓グリーンアカデミアの創生

- ・観光スポットの磨き上げ
耳納北麓グリーンアカデミア観光の推進
- ・産業集積と雇用創出の新たな拠点
新産業団地の整備

人

健康で安心な暮らしをサポート

- ・介護保険の新制度
地域包括ケアシステムの構築
- ・市民の健康寿命の延伸を応援
健診受診率の向上とラジオ体操の推進

活力

文化芸術・スポーツで魅了

- ・久留米シティプラザ・久留米市美術館の
魅力あふれるイベント
- ・総合武道館の整備と市民スポーツの推進

情報発信の強化

久留米のイチオシ情報を発信

- ・東京新橋で久留米圏域の情報を発信
「(仮称)福岡久留米館」のオープン
- ・農業産出額県内1位
久留米産農産物のPR
- ・革新的な研究開発や
売れる商品づくりを支援

「寄り添い育む次世代応援」



《P〇〇》は「平成29年度当初予算のポイント」のページを表示しています。

「(仮称)くるめ親子支援センター」の新設

子育て世代包括支援事業 36,384千円 《P9》

- 母子保健や育児に関する様々な悩みを、保健師等が専門的な見地から包括的に支援
- 平成29年10月、市役所本庁舎内に中央センターを開設
- 平成31年度を目途に、5ヶ所の地域センターを開設【予定】
- 出産直後に実施する産婦健診や産後ケア事業等を新たに開始
- **妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を、ワンストップで実現**

待機児童解消に向けた新たな取り組み

保育士人材確保対策事業 61,910千円 《P7》
潜在保育士就職支援給付金給付事業 2,000千円 《P7》

- 保育所等が職員配置基準を超えて保育士を雇用する経費を、1人当たり月20万円程度助成
- 潜在保育士の保育現場への復職支援として、10万円を保育士本人に給付
- **待機児童の解消に向けて、保育士不足への対応を加速**

地域と協働して学力向上を後押し

中学校コミュニティ・スクール推進事業交付金 うち学習習慣定着支援分 4,302千円 《P12》

- 地域学校協議会の提言を受けて運営する学習習慣定着事業（学習サポーターによる放課後等学習支援活動）に交付金を支給
- 平成29年度はモデル校として、6校で実施予定
- **基礎的学力と自学自習の習慣を定着させ、学力の向上を目指す**

「健康で安心な暮らしをサポート」



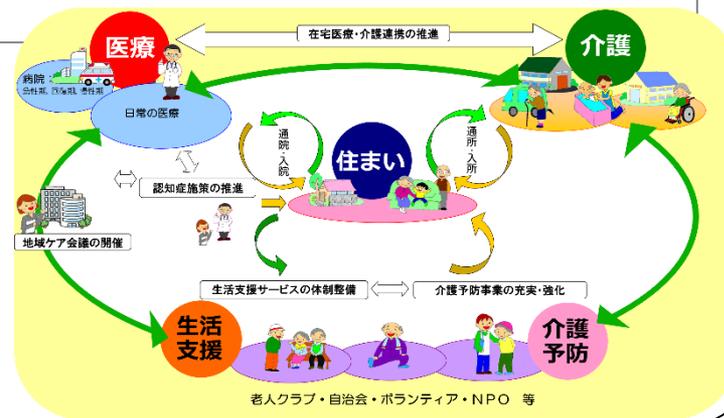
地域包括ケアシステム（「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「日常生活の支援」が包括的に確保される仕組み）の構築

※関連事業含む

（介護保険事業特別会計）

地域包括ケアシステム推進事業	474,760千円	《P19》	地域介護予防活動支援事業	36,039千円	《P5》
介護予防普及啓発事業	40,888千円	《P19》	認知症高齢者見守り事業	2,854千円	《P19》
緊急通報システム貸与事業	8,919千円	《P19》			

- 総合事業の開始に伴い、従前の介護予防給付から、地域の実情に応じたサービスを提供する訪問・通所事業に移行
 - ここにこステップ運動などの介護予防の取り組みを拡充
 - 認知症高齢者の位置情報検索サービス利用補助を新設
 - 一人暮らしの高齢者に対する緊急通報機器の貸与を拡充
- **誰もが、住み慣れた地域で、自立した生活が送れるよう包括的に支援**



健診受診率の向上とラジオ体操の推進

健康増進事業	うち受診率向上対策及び胃がんリスク検査分	11,385千円	《P17》
健康のびのびプロジェクト事業	うちラジオ体操推進分	2,447千円	《P17》

- 疾病の早期発見に向け、ハガキによる検診の個別勧奨や胃がんリスク検査の対象者を拡大（41歳のみ⇒41・46・51歳）
 - ラジオ体操を通じた健康づくりをすすめるため、講師の派遣や夏期巡回ラジオ体操を誘致・開催
- **健康づくりを広く浸透させ、市民の健康寿命の延伸を応援**

「セーフコミュニティの進展」

地域防災力の強化

防災対策強化事業 149,551千円 《P23》

- 市民の防災意識の向上を図る防災シンポジウムの開催
- 円滑な避難所運営が出来るよう避難所利用計画を策定
- 避難所表示板の設置や空調機の整備など避難所機能の充実
- **避難体制や避難所の充実など防災対策を強化**

青パトの全校区配備

校区青パト活動支援事業 11,480千円 《P22》

- 校区コミュニティ組織等へ専用青パトの新規配備や更新にかかるリース料を助成
- 青パト活動にかかる経費も引き続き助成
- **市内全校区への青パト配備に向け、活動支援を拡大**



キラリ照明灯の新設

キラリ照明灯整備事業 16,921千円 《P22》

- 道路照明灯と防犯灯を補完する新たな区分の照明を市が設置
- 市内全域に7,000基程度を設置予定
- **暗い夜道をキラリと照らし、安全・安心な明るいまちづくりを実現**



高齢運転者の免許自主返納を支援

高齢運転者の免許自主返納支援事業
15,975千円 《P22》

- 70歳以上の運転免許を自主返納された方に、年間1万円分の交通系ICカードやバス回数券、タクシー利用券を支給
- 申請により、免許返納から3年間支援
- **自主的な免許返納のきっかけをつくり、高齢運転者の交通事故を抑止**

「文化芸術・スポーツで魅了」



久留米シティプラザ・久留米市美術館での魅力あふれるイベント

久留米シティプラザ事業 640,298千円 《P27》 美術館事業 300,658千円 《P26》

- 久留米シティプラザでは、「チェコ・フィルハーモニー管弦楽団」の公演や演劇「アマデウス」、久留米たまがる大道芸など、様々なジャンルの自主・提携事業を展開
- 久留米市美術館では、石橋財団の支援を得て、「川端康成展」「石橋財団コレクション展」「東郷青児展」など6つの魅力ある展覧会を開催

➤ 久留米の文化・芸術の粋を集めた珠玉のイベントに乞うご期待

総合武道館の整備と市民スポーツの推進

総合武道館整備事業 1,986,544千円 《P28》 市民スポーツ推進事業 6,053千円 《P27》

- 県と連携して、久留米総合スポーツセンター内の体育館や武道場、弓道場を整備
 - 運動習慣づくりに対する支援やジュニアアスリートへの支援、トップアスリートを目指すジュニア世代向けスポーツ教室の開催など、市民がスポーツと触れ合う機会を充実
- 施設整備と市民スポーツの推進で、スポーツの振興と発展を加速

※(仮称)久留米スポーツセンター体育館（平成30年春オープン予定）

○施設：〔県〕メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニング室
〔市〕武道場（畳・板張り）、弓道場

○延べ床面積：約17,000㎡



「耳納北麓グリーンアルカディアの創生」



耳納北麓グリーンアルカディア観光の推進

耳納北麓グリーンアルカディア観光推進事業 120,288千円 〈当初10,291千円 3月補正109,997千円〉《P36》
インバウンド推進事業 13,823千円 《P32》

- ・ 田主丸ふるさと会館の観光案内や情報発信の機能を強化し、飲食・特産物販売スペースも設置
 - ・ 「食」をテーマに訪れたいくなる店の発掘と情報発信
 - ・ 観光情報誌の発行やマスメディアとの連携による情報発信
 - ・ 久留米版DMOの設立を支援
 - ・ 外国人観光客を円滑に受け入れできるように、観光PRパンフレットやウェブ版のフルーツ狩りマップを多言語で作成
- **耳納北麓エリアへのさらなる誘客を目指し、
エリアの観光拠点機能と魅力発信を強化**



新産業団地の整備

新産業団地整備事業 779,057千円 《P32》

- ・ 県・うきは市と連携して、「久留米・うきは工業用地造成事業」を実施
- **地域経済を支える産業の集積と雇用創出を図る新たな受け皿の整備に邁進**

※(仮称)久留米・うきは工業用地 (平成30年度分譲開始予定)

- 事業主体：福岡県企業局
- 位置：久留米市田主丸町鷹取／うきは市吉井町鷹取
- 開発区域：全体約33ha (久留米市側21ha、うきは市側12ha)

「久留米のイチオシ情報を発信」

「(仮称)福岡久留米館」のオープン

アンテナショップ運営事業 70,523千円 《P37》

- 平成29年7月、東京新橋に久留米広域連携中枢都市圏の情報受発信拠点施設「(仮称)福岡久留米館」を開設
 - 観光や移住等に関する情報の発信や圏域の特産品の展示・販売、食の提供など、圏域の魅力を存分に味わえる空間を創出
- **久留米市をはじめとした圏域の知名度向上とファンの開拓を目指し、圏域の魅力を広く首都圏・全国に向けてPR**

久留米産農産物のPR

久留米産農産物の販売力強化事業 17,866千円 《P29》
久留米つつじ振興対策事業 40,589千円 《P30》

- トップセールスなどにより、ブランド農産物をPR
- 久留米産農産物の魅力を伝えるPR映像を作成
- 輸出に取り組む農業者を支援
- 市の花「久留米つつじ」の名所を再整備し、緑化木の魅力を発信



- **農業産出額県内1位である久留米の農産物を全国・海外に向けてPR**

革新的な研究開発や 売れる商品づくりを支援

バイオ産業振興事業
うち理化学研究所等との連携事業 60,959千円 《P31》
売れる商品づくり支援事業 4,156千円 《P32》

- 理研と大学や地域企業が連携して行う革新的な機能性食品や医薬品の開発を支援
- 地場企業の商品を、より魅力ある売れる商品にブラッシュアップ

- **久留米の特色であるバイオ産業の集積や個性ある地場産物を全国に向けてPR**